学校番号	309

令和8年度 地理歴史科

教科	地歴	科目	歴史総合	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「現代の歴史総合」（山川出版社）						
副教材等	「新詳 歴史総合」（浜島書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合では、近代・現代に焦点をあて、世界とそのなかにおける日本の歩みとを関連付けながら学習する。そうすることで、いま生きている世界とその中の日本が幾多の課題を克服してきたかを学び、歴史に現れる課題を把握して考察し、課題を解決していこうとする力を養う。最終的には、これから先も主体的に事象を追究し、課題を把握して解決していこうとすることができる力を養うことをめざす。

2 学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立って、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりより社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動（実質 54 時間程度）

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	近代化と私たち	近代化とは何かを考える	a:諸資料を利用して、様々な事象が近代化の重要な側面であることを理解している。 b:諸資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを整理し、表現できている。 c:自分が抱いた興味・関心や疑問をもとに、見通しをもって学習に取り組もうとしている。諸資料から読み取ったことを生徒相互で共有しようとできる。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート 定期考査	グループワーク ワークシート 小テスト

	結びつく世界と日本の開国	・18 世紀の東アジアにおける社会と経済を学ぶ ・貿易が結んだ世界と日本の関係を学ぶ ・産業革命について学ぶ ・中国の開港と日本の開国の関連を学ぶ	a:18 世紀の東アジアにおける社会と経済と特徴を理解している b:中国と日本の人口グラフおよび中国に関する資料を読み取り、両国の特徴と相違点を考察している c:商業ルートの発達の地図と資料を組み合わせて理解しようとしている a：18 世紀の日本がどのような形で世界と結びついていたのかを理解している。 b：18 世紀の中国と欧米諸国との貿易のあり方を考察し、表現している。 c：18 世紀の中国や日本と世界の結びつきが、その後の時代にどのように変容するかなどの視点をもち、その後の学習につなげようとしている。 a：教科書の本文、諸資料などからイギリス産業革命の背景やその影響を理解している。 b：産業革命が人々の生活へ与えた影響をふまえ、豊かさとは何かについて考察している。 c：産業革命期の児童労働が自らと同世代の境遇だと理解し、問題の原因について主体的に追究しようとしている。 a：戦争の有無や貿易の状況など、中国の開港と日本の開国がもつ相違点について理解している。 b：中国の開港と日本の開国の背景や影響について、自ら問いを立てて表現している。 c：諸資料の読みとりを通して、中国の開港と日本の開国により、東アジアがどのように変容したかという問いに対して、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連付けながら追究しようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト

	国民国家と明治維新	・市民革命について学ぶ ・国民国家とナショナリズムについて学ぶ ・明治維新を学ぶ ・日本の産業革命を学ぶ	a:アメリカ独立革命がこの時期におこった背景について理解している。 b:アメリカ独立革命とフランス革命の共通点と相違点について考察している。 c:市民革命の定義について理解したうえで、日本の歴史を振り返り、市民革命と呼べるようなものがあったかについて自分なりに考察しようとしている。 a:教科書の本文、諸資料などから、国民国家を形成しようとする動きが19世紀になって広まった原因を理解している。 b:国民国家の形成がもたらした影響や課題について考察している。 c:「国民」という自明なことについて、歴史的な経緯をふまえ、あらためてその意味について自分なりに追究しようとしている。 a:大名や下級武士、士族や豪農らが政治参加を求める運動の主体となったことや、その展開について理解している。 b:日本の立憲国家の成立過程の特徴を欧米の事例の学習を振り返りながら比較の視点を用いて整理し、当時、欧米からなされた評価の意味や課題を考察してい c:これまでの学習を振り返り、欧米の立憲体制と比較しながら明治維新の特色や課題を考察しようとしている。 a:イギリスよりも遅れて始まった日本の産業革命が短期間で達成された要因について理解している。 b:炭鉱や造船所などの払い下げが、民間産業の育成や財閥の成長につながったことを考察している。 c:欧米諸国との産業革命成立の違い、および日本の産業革命の特徴は何かという問いに対して、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート 定期考査	グループワーク ワークシート 小テスト

			しようとしている。			
		・帝国主義とは何か ・変容する東アジアの国際秩序について学ぶ ・日露戦争と東アジアの変動を学ぶ	a：教科書の本文、諸資料などから、帝国主義を進めた諸国の共通点と相違点を理解している。 b：帝国主義において、軍事面だけでなく経済面や文化面の要素もふまえて考察している。 c：植民地とされた地域には現在まで続く問題があることに気づき、このような歴史と現在の関係の類例がほかにないか主体的に追究しようとしている。 a：日清戦争が、中国を中心とした東アジアの国際秩序の変化および日本の帝国主義政策に与えた影響について理解している b：諸資料の読みとりを通して、日清戦争前後にみられる日本人のアジア観の変化について考察している。 c：現在の領土問題やグローバル化の進展と主権国家の関係性などの視点をもち、課題意識をもって考察し、その後の学習につなげようとしている。 a：日清・日露戦争を通して日本国民の対外意識が変化したことについて理解している。 b：この時期における中国・朝鮮・日本の変容の歴史的経緯について、欧米列強の動きと関連づけて考察し、表現している。 c：日露戦争の勝利が東アジア諸国の変容とどのように関連し、領土問題や外交案件などの現代的な諸課題とも結びついているかという視点をもち、その後の学習につなげようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート 定期考査	グループワーク ワークシート 小テスト

	近代化と現代的な諸課題	・近代化とは何をもたらしたのかを考察する ・その過程で現れた諸課題を見出す	a：地図や統計、絵画、文書など様々な資料を活用して、環境汚染や環境保全への試みといった現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史について理解している。 b：事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、複数の事象を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、「開発・保全」「対立・協調」「自由・制限」について考察し、表現している。 c：よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて「近代化と私たち」の学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト
二学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	国際秩序の変化や大衆化とはどのようなことかを考える	a: 地図や統計、絵画、文書など様々な資料から、情報を読みとったりまとめたりする技能を身につけている。 b: 大衆化にともなう生活や社会の変容について考察し、自分自身の問いを表現している。 c: 大衆化にともなう生活や社会の変化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト

	総力戦と社会運動	・第一次世界大戦の展開について学ぶ ・ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭を学ぶ ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制について学ぶ	a：教科書の本文、諸資料などから、第一次世界大戦が当初の予想よりも長期化した要因を理解している。 b：第一次世界大戦が人々の生活や社会に与えた影響について考察している。 c：総力戦体制がとられた国家における人々の生活の状況をふまえ、どのような問題点があるのか主体的に考察しようとしている。 a：ソ連・アメリカの経済的な特徴（戦時共産主義・ネップ・5カ年計画・大量生産・大量消費）について理解している。 b：アメリカ合衆国の経済的繁栄がもたらした問題点について考察している。 c：第一次世界大戦後の世界におけるソ連とアメリカ合衆国の影響力について、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 a：教科書の本文、諸資料などからヴェルサイユ体制・ワシントン体制の内容を理解している。 b：諸資料から読みとれるパリ講和会議・ワシントン会議の各国の立場の違いについて考察している。 c：第一次世界大戦後の新たな国際体制について、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト

		・世界経済の変容と日本について学ぶ ・アジアのナショナリズムについて学ぶ ・大衆の政治参加について	a：総力戦の直接的な影響を受けなかった日米両国が経済成長する要因を理解している。 b：諸資料の読みとりを通して、日本の経済状況の変化について、時期を区分して考察し、表現している。 c：大戦景気のなかで可視化された格差の拡大、および大戦後の国際環境の変化による不況から生じた経済的な要求と大衆運動の関係などの視点をもち、その後の学習につなげようとしている。 a：教科書の本文や諸資料から、アジア諸地域のナショナリズムの特色とその展開を理解している。 b：アジア各地域でのナショナリズムの様相とその相違を考察し、表現している。 c：第一次世界大戦後に高揚したアジアのナショナリズムについて、学習の見通しをもって取り組むとともに、自身の問いと関連づけて追究しようとしている。 a：社会運動の広がりや大衆社会の形成に、学問や教育制度、マスメディアの発達が影響を与えたことを理解している。 b：新中間層の出現や学問・教育・マスメディアの拡充が、男性普通選挙や政党内閣の成立に影響を与えたことについて考察している。 c：明治時代と異なり、大正時代以降には様々な権利を求める運動が成長し、一定の成果を得ることができたのはなぜかという問いに対して、学習の見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト

		・消費社会と大衆文化を学ぶ	a: 交通機関やマスメディアの発達が、都市域の拡大や余暇の多様化などの新しい生活様式をもたらしたことを理解している。 b: 諸資料を活用しながら、大量生産・消費がもたらした大衆文化の広がりと、新たな課題について考察している。 c: 都市的で画一化した生活様式や、大量生産と大量消費を前提とした大衆文化がどのように発展したのかという問いに対して、学習の見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト
	経済危機と第二次世界大戦	・世界恐慌の時代について ・ファシズムが伸長し共産主義が広がった背景を学ぶ	a:アメリカ合衆国の大恐慌と、ヨーロッパや日本がどのように結びついているのかについて理解している。 b:恐慌対策である積極財政と緊縮財政の相違点、および長所と短所について考察し、表現している。 c:世界恐慌への対応が国際協調体制を動揺させ、その反省から戦後の国際機関や経済の枠組みが再構築されたという視点をもち、その後の学習につなげようとしている。 a:諸資料から、日本・ドイツ・イタリアが連携した目的や背景、および共産主義を敵とみなしていたドイツと、ソ連が連携した背景とその影響について理解している。 b:ファシズムが伸長した背景とその特徴を、イタリアのムッソリーニ政権とドイツのナチ党政権を比較しつつ考察し、表現している。 c:ファシズムの伸長とヴェルサイユ体制の崩壊、共産主義勢力の対応について、学習の見通しをもって取り組むとともに、自身の問いと関連づけて追究しようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト

二学期		・日中戦争がなぜ始まったか ・第二次世界大戦の展開を学ぶ ・第二次世界大戦下の社会について学ぶ	a：戦争を抑止できず拡大に向かった要因について理解している。 b：地図や諸資料の読みとりを通して、満洲事変と日中戦争がどこで展開し、どのような被害があったかについて考察し、表現している。 c：第二次世界大戦後の社会が、満洲事変や日中戦争から始まる戦禍の反省のうえに成り立っているという視点をもち、その後の学習につなげようとしている。 a：諸資料から、第二次世界大戦勃発の背景と大戦の推移、連合国の形成状況などの展開について理解している。 b：第二次世界大戦が、大規模で凄惨かつ長期化した戦争となった背景と大戦の推移を考察し、表現している。 c：第二次世界大戦が大規模で凄惨かつ長期化した戦争となった背景と大戦の推移について、学習の見通しをもって取り組むとともに、自身の問いと関連づけて追究しようとしている。 a：諸資料から民衆動員が女性や植民地民衆など広大な範囲で展開されたことや、戦争の被害、組織的虐待などで一般市民の大規模な犠牲が生じたことを理解する。 b：諸資料から読みとった情報をもとに、民衆動員の規模・時期について適切に整理し、その特徴を考察している。 c：第二次世界大戦は人々にとってどのような経験であったのかという問いについて、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト

		・国際連合と国際経済体制がつくられた背景から学ぶ ・占領と戦後改革について ・冷戦の始まりと東アジア諸国の動向について学ぶ	a：諸資料から、国際連合の形成過程や目的、その実情や課題を、国際連盟と比較しつつ理解している。 b：国際連合の特徴やその課題を、国際連盟と比較するなどして考察し、表現している。 c：国際連合や新たな国際経済秩序にはどのような課題があり、国際社会にどのような影響をおよぼしたのかという視点をもち、その後の学習につなげて追究しようとしている。 a：ドイツと日本の占領体制の違いから、日本の政治・社会の体制がアメリカ合衆国の強い影響力のもとで構築されたことを理解している。 b：諸資料をもとに日本とドイツの占領体制の共通点と相違点を適切に判断し、冷戦体制の文脈のなかでその影響や結果を考察している。 c：考察した結果を他者と共有したり、他者の意見を生かして自らの考察を一層深めようとしている。 a：諸資料から、米・英・ソの関係がどのように変容し、またそのなかでヨーロッパの分断がどのように進んだのかについて理解している。 b：アメリカ合衆国を中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営の動向を結びつけたり比較したりして、冷戦の表面化とその特徴を考察し、表現している。 c：冷戦の表面化と軍事ブロック化、アジア地域での熱戦が、その後の冷戦の進展と国際社会の変容にどのような影響をおよぼしたのかという視点をもち、その後の学習につなげて追究しようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト

		・日本の独立と日米安全保障条約について学ぶ	a：年表や諸資料から、東西の緊張の高まりが、連合国の日本における占領政策を転換させたことを理解している。 b：諸資料をもとにアメリカ合衆国の占領政策が転換した原因やその影響について考察している。 c：日本はどのようにして国際社会に復帰したのかという問いについて、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト
	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	・国際秩序の変化や大衆化が何をもたらしたかを考察 ・その過程で現れた諸課題を見出す	a：地図や統計、絵画、文書など様々な資料を活用して、日本とインドの鉄道や日本における鉄道政策をめぐる対立といった現代的な諸課題の形成に関わる大衆化の歴史について理解している。 b：事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、複数の事象を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、「対立・協調」「統合・分化」「平等・格差」について考察し、表現している。 c：よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて「国際秩序の変化や大衆化と私たち」の学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト
三学期	グローバル化と私たち	グローバル化とは何かを考える	a：地図や統計、絵画、文書など様々な資料から、情報を読みとったりまとめたりする技能を身につけている。 b：グローバル化にともなう生活や社会の変容について考察し、自分自身の問いを表現している。 c：グローバル化にともなう生活や社会の変化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト

	冷戦と世界経済	・冷戦下の地域紛争と脱植民地化を学ぶ	a：諸資料から、冷戦がアジア・アフリカ諸国に対して与えた影響と冷戦に対するアジア・アフリカ諸国の反応を理解している。 b：朝鮮戦争や中東戦争、インドシナ戦争、ベトナム戦争など冷戦下の地域紛争の要因とその影響を考察し、表現している。 c：第三勢力の動向が冷戦構造にどのような影響を与えたかという視点をもち、その後の学習につなげようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト
		・東西両陣営の動向と1960 年代の社会を学ぶ	a：教科書の本文や諸資料から、1960 年代、人々は何をめざしてどのような運動を展開したのかについて理解している。 b：差別撤廃運動や 1968 年に着目して、1960 年代、人々は何をめざしてどのような運動を展開したのかについて考察し、表現している。 c：1960 年代、人々は何をめざしてどのような運動を展開したのかについて、その運動が現在も問われている課題でもあるという視点をもち、その後の学習につなげようとしている。			
		・軍拡競争から緊張緩和への転換の背景を学ぶ	a：教科書の本文、図、諸資料などから核兵器の開発と抑制の動きを理解している。 b：キューバ危機によって世界がどのように変化したのかについて考察すると同時に、ケネディ大統領のフルシチョフ宛書簡を正しく読みとり、米・ソ双方の思惑と譲歩の内容について考察している。 c：米・ソの核兵器数の推移とその歴史的背景について、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。			

三学期		・地域連携の形成と展開を学ぶ <

		・アジアの中の戦後日本について学ぶ	a: 教科書の本文、年表や資料から中華民国・中華人民共和国および韓国との関係構築が、アメリカ合衆国の東アジア政策の影響を受けながら展開したことを理解している。 b: 韓国・中国との関係改善に至るまでの課題や、その克服、新たな課題について考察している。 c: 現代の東アジアに関連する問いに対して、自らの答えを追究しようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト
	世界秩序の変化と日本	・石油危機について学ぶ ・アジア諸地域の経済発展について学ぶ	a: 原油価格の推移のグラフの意味するところを理解している。 b: 「資源をめぐる争い」の風刺画を読みとり、考察している。 c: 1973 年ごろの日本のスーパーマーケットの写真を、コロナ禍における生活必需品の逼迫状況などに引きつけながら主体的に背景を考察しようとしている。 a: 1970 年～2000 年代にかけてアジアの GDP 推移グラフを正しく読みとることができる。 b: ODA 実績の推移のグラフを正しく読みとり、日本にとっての ODA の性格の変化と背景について考察するとともに、アジアにおける日本の主要電子・電機メーカーの現地生産品目を確認し、それがアジア諸国にどのような影響をおよぼしたのかについて考察している。 c: OPEC の設立の図を分析して、OPEC が結成された背景を類推し、OPEC における発言力が強い地域を考察するなど見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト

		・市場開放と経済の自由化について学ぶ ・情報技術革命とグローバリゼーションについて学ぶ ・冷戦の終結とソ連の崩壊を学ぶ	a: ウルグアイ＝ラウンドでめざされたことを理解している。 b: 国鉄の分割民営化に関する与党の広告から民営化の理由と公約が守られたのかについて、また、3公社の民営化の表からなぜ国営化されていたものが民営化されたのか、そしてそのメリットとデメリットについて考察している。 c: サッチャーの政策に関する風刺画から読みとれることと、資料文からわかることを読み解き、サッチャーがどのような政策を実施しようとしているのかを考察しようとしている。 a: 高度情報通信によるグローバル経済の発展や情報化社会の形成が,新たな経済格差や産業構造、マスメディア等に与えた影響を理解している。 b: インターネット普及率や 19 世紀、20 世紀の通信に関する諸資料から通信網の整備と国際経済の発展との関連について考察している。 c: 情報技術革命は世界をどのように変えたのかという問いについて、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 a: 米・ソの戦略兵器配備状況のグラフをみて、核兵器保有の推移を理解している。 b: ベルリンの壁の開放の写真を読みとり、その意味するところを考察している。 c: 改革後の問題の風刺画を読み解き、ソ連解体につながる歴史的背景について考察しようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト

		・現代の東アジアについて ・東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化について ・地域統合の拡大と変容を学ぶ	a: グラフを適切に読みとり中国のGDP の伸長と、改革・開放政策、資本主義諸国との関係改善との関わりを理解している。 b: 写真やグラフなどの諸資料から、中国の経済成長や国際社会における地位の変化について考察している。 c: 今日の東アジアの国々にはどのような課題があるのかという問いについて、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 a: 諸国の民主化と現状について理解している。 b: 各国の民主化における日本の肯定的影響、否定的影響について考察している。 c: 各国の民主化の課題と現状をふまえて、どのような活動が必要かについて考察しようとしている。 a: EUの成立までの経過と課題（財政危機・移民・難民・ポピュリズム）について理解している。 b: 諸資料などを読みとり、各地域統合・自由貿易協定の課題について考察している。 c: 今後の国際社会はどのようにあるべきか自分の意見を表現しようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト

		・地域紛争と国際社会について学ぶ ・現代と私たちについて学ぶ	a: 安保理に関する資料などから、冷戦終結後の地域紛争の拡散やそれへの対応について、理解している。 b: 冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを考察し、表現している。 c: 冷戦の終結は協調と平和をもたらしたのかという問いについて、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 a: 新たな技術や秩序の登場が従来の課題解決とともに社会の動揺や反動を生じさせることがあることを理解している。 b: これからの社会が直面する課題や、その望ましい解決策について、歴史上の類似事例を根拠としてあげながら考察し、表現している。 c: 資料の読みとりや考察の結果などを他者と共有し、相手や自分の考察を一層深めようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト
	現代的な諸課題の形成と展望	・グローバル化が何をもたらしているかを考察する ・グローバル化の中で生まれた課題を見出し、解決への展望を描く	a: 諸資料から問いを立てることが出来ることや、経緯や背景、共通点や相違点、担い手といった視点から整理することが有効であることを理解している。 b: 資料に対し、その時代や資料を記録したものの立場などを文脈に応じて適切に分析し、資料の意義を判断している。 c: 自ら問いを立て、分析の方法や視点を設定し、その答えを追究しようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	ワークシート リフレクションシート	グループワーク ワークシート 小テスト

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度